

# 第7回冠攣縮研究会・プログラム

7月28日(土) 16:00 品川プリンスホテル メインタワー19階「ゴールド」

## 1. 開会の挨拶 (16:00~16:05)

熊本大学 小川久雄

## 2. 事務局より (16:05~16:30)

冠攣縮研究会事務局 高木祐介、高橋 潤 (東北大学)

- ① 「多施設共同前向き登録研究」進捗状況について
- ② 「国際ミーティング in ミュンヘン(ESC)」のご案内
- ③ 「冠攣縮と院外心停止登録研究」準備状況について

## 3. 一般演題 (16:30~18:00) (発表7分・討論3分)

座長: 熊本大学 小川久雄

- 1) 東北大学・二瓶太郎: 冠攣縮性狭心症患者における東日本大震災の影響-Rho キナーゼ活性に基づく疾患活動性の検討
- 2) 新別府病院・中村夏樹: 冠動脈ステント留置が有効であった難治性冠攣縮性狭心症の1例
- 3) 三重大学・谷川高士: 冠攣縮を契機に発症したと考えられる心室細動をAEDにて救命しえた1例
- 4) 杏林大学・重田洋平: 冠攣縮によるVF/VTで院内心停止を来した一剖検例
- 5) 熊本大学・中山尚貴: 冠攣縮による急性冠症候群症例の責任病変をIVUS、OCTで観察しえた1例
- 6) 紀南病院・田中篤: FD-OCTにて偶然発見された、器質狭窄病変に合併した冠攣縮の一例
- 7) 日本医科大学千葉北総病院・村上大介: CCB3剤を含めた強化薬物療法でも難治性であった冠攣縮性狭心症の1例~活動性の変化と治療戦略の構築
- 8) 広島鉄道病院・寺川宏樹: 冠攣縮性狭心症患者の診断前の内服状況からの考察
- 9) 愛媛県立新居浜病院・末田章三: 若年性VSAの2症例

休憩 (18:00~18:15)

## 4. 特別講演 (18:15~19:15)

座長: 東北大学 下川宏明

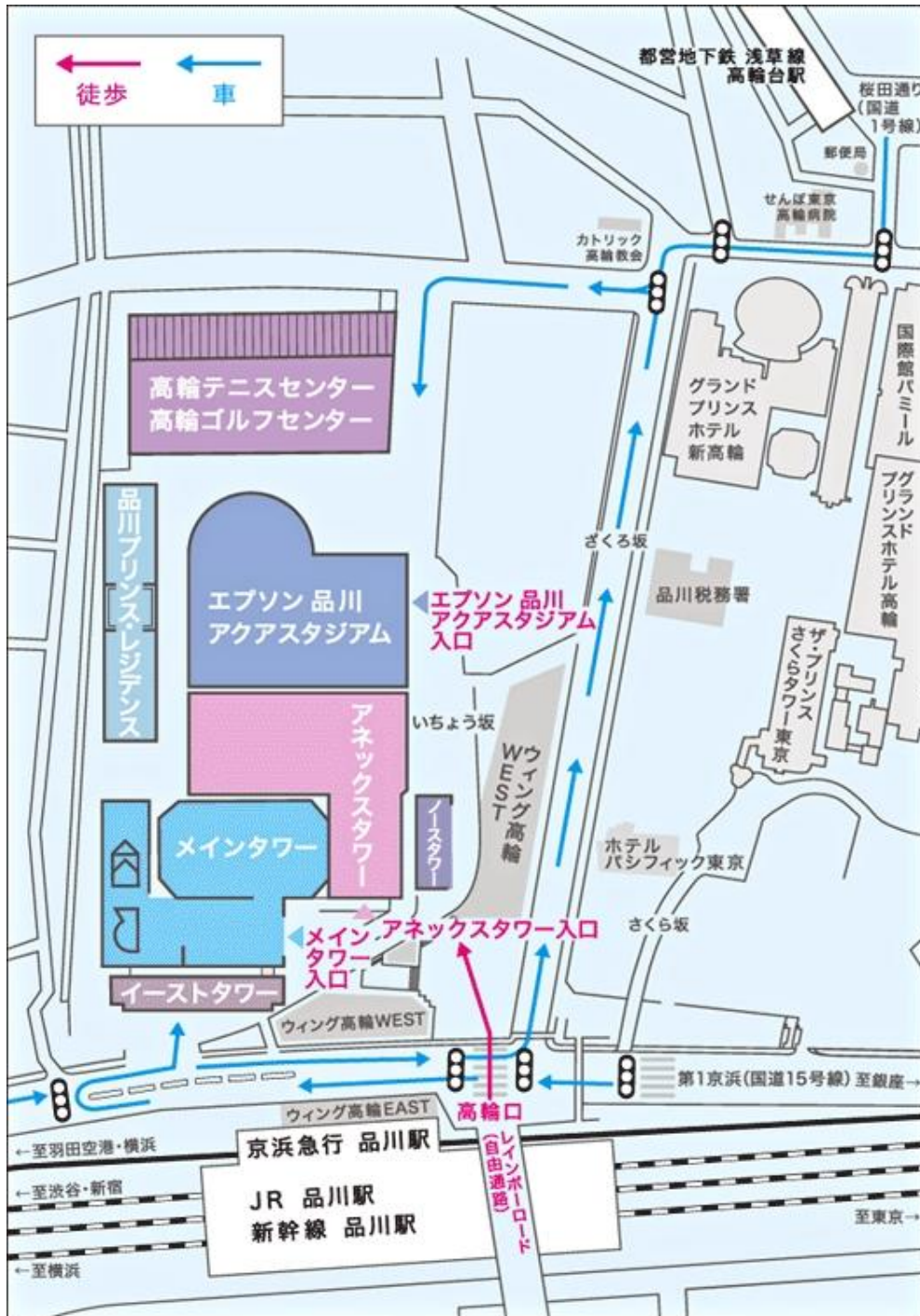
演者: Peter Ong (Department of Cardiology and Pulmology, Robert-Bosch-Krankenhaus, Stuttgart, Germany)

演題名: Patterns of coronary vasomotor response to intracoronary acetylcholine in Caucasian patients with unobstructed coronary arteries

## 5. 閉会の挨拶 (19:15~19:20)

東北大学 下川宏明

## 6. 情報交換会 品川プリンスホテル 17階「オパール」



■新幹線・JR線・京浜急行の品川駅（高輪口）徒歩約2分

■京浜急行 羽田空港駅から最速約14分